

—弦の国チェコが誇る円熟の名カルテット—

# パノハ弦楽四重奏団

with 岡田博美

PANOCHHA QUARTET & HIROMI OKADA



© K.Miura

2015年12月2日(水) 開演19:00  
(開場18:30)

浜離宮朝日ホール

出演者

パノハ弦楽四重奏団 / 岡田博美(ピアノ)

イルジー・パノハ(第1ヴァイオリン)

バヴェル・ゼイファルト(第2ヴァイオリン)

ミロスラフ・セフノウトカ(ヴィオラ)

ヤロスラフ・クールハン(チェロ)

## プログラム

モーツァルト:弦楽四重奏曲 第1番 ト長調「ローディ」

MOZART:STRING QUARTET NO.1 IN G MAJOR

シューベルト:弦楽四重奏曲 第10番 変ホ長調 D.87

SCHUBERT:STRING QUARTET NO.10 IN E-FLAT MAJOR D.87

シューマン:ピアノ五重奏曲 変ホ長調 Op.44

SHUMANN:PIANO QUINTET IN E-FLAT MAJOR OP.44

入場料金

S = 5,000円 / A = 4,000円 (全席指定・税込)

主催・お問合せ

カメラータ・トウキョウ 03-5790-5560 <http://www.camerata.co.jp>

チケット取扱

■カメラータ・トウキョウ : 03-5790-5560

■朝日ホールチケットセンター : 03-3267-9990

■チケットぴあ : 0570-02-9999 (Pコード: 277-421)

■e+ (イープラス) : <http://eplus.jp>



# パノハ弦楽四重奏団 PANOCHA QUARTET



パノハ弦楽四重奏団は弦楽器王国ないしはアンサンブル王国ともいうべきチェコの誇る、代表的なカルテットの一つである。往年のスメタナ四重奏団の育ての親でもあったヨゼフ・ミツカ教授の弟子達、第1ヴァイオリンから順にイルジー・パノハ（'50年生）、バヴェル・ゼイファルト（'52年生）、ミロスラフ・セフノウトカ（'52年生）、ヤロスラフ・クールハン（'50年生）という顔ぶれで'68年プラハ音楽院の学生時代に結成、'71年に正式に活動を開始した。'80年初来日。

彼らの最初の成功は、'75年プラハでの国際弦楽四重奏コンクールにおいて荣誉ある第1位を受けたことであった。カルテットは定期的にヨーロッパの殆ど全ての国、またアメリカ、カナダ、ニュージーランド、オーストラリア、日本、イスラエル、メキシコなど外国に於いても演奏会を行い、エジンバラ、ザルツブルク、プラハ、メントン、テルアビブ、クフモ、モントゼー等の国際フェスティバルに参加している。また録音の分野では'76年にはボルドーで金メダル、'82年にはスプリングのゴールド・ディスクを受賞している。'83年にはマルティヌーの弦楽四重奏曲第4番、第6番の録音に対してパリでアカデミー・シャルル十字勲章を受賞している。特にドヴォルザーク、スメタナ、マルティヌー、ヤナーチェクなどの

チェコの音楽に重点をおいて活動しているが、ヨゼフ・ハイドン等のウィーン古典派や、バルトークやショスタコーヴィチといった20世紀の作曲家の作品やロマン派の作品もしばしば含まれる。カルテットはスプリング・レーベルに数多くの録音があり、ドヴォルザークの弦楽四重奏曲全集も録音した。

日本においては、毎夏に行われる草津夏期国際音楽アカデミー&フェスティバルに1998年から毎年招待され、この音楽祭を代表するアーティストとして活躍するほか、全国ツアーを定期的に行い、多くのファンを魅了している。

パノハ弦楽四重奏団はすでにチェコ（ボヘミアン）カルテットに始まり、スメタナ、ヤナーチェク、ウラッハカルテットといった彼らの偉大な先人達が育ててきたチェコで伝統的なカルテットとして活動して国際的な名声を勝ち得ている。



## 岡田 博美 (ピアノ) HIROMI OKADA, PIANO

富山県出身。安藤仁一郎、森安芳樹、マリア・クルチオの各氏に師事する。

桐朋学園大学在学中、第48回日本音楽コンクールで第1位優勝。桐朋学園大学を首席で卒業後、1982年第28回マリア・カナルス国際コンクールで第1位（スペイン音楽解釈賞を併せて受賞）、1983年第2回日本国際音楽コンクールピアノ部門第1位、1984年第2回ブレトリア国際コンクールにて第1位（リサイタル賞を併せて受賞）と、次々に優勝を果たし注目を集める。

1984年よりロンドン在住。翌1985年、ロンドンでデビューリサイタルを行い、「まさしく来るべきスター」（デイリー・テレグラフ紙）、「図抜けて確かなテクニックで、創造力に富む情熱的な音楽性」（タイムズ紙）と絶賛された。以後、ロンドンを中心にヨーロッパ各地で演奏活動を続けながら、日本においても、毎年意欲的なプログラムによるリサイタルを開催し、好評を博している。1993年のショパン・エチュード全曲演奏に対して第20回日本ショパン協会賞を受賞している。

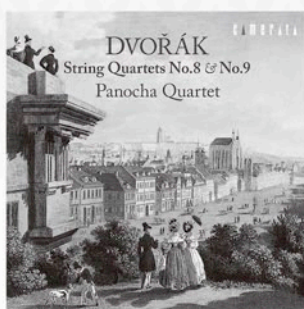
オーケストラとの協演も多く、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京都交響楽団、東京交響楽団、日本フィルハーモニー

交響楽団ほか、フィルハーモニア管弦楽団BBC交響楽団、ロイヤル・フィルハーモニック管弦楽団、イギリス室内管弦楽団等、海外のオーケストラとも協演しており、古典から現代曲までの幅広いレパートリーで聴衆を魅了している。2011年は5月にイギリスにてフィルハーモニア管定期演奏会でベートーヴェンの『皇帝』を演奏し好評を博した。11月には日本フィルとシヨパン「ピアノ協奏曲 第1番」で、2012年1月と9月に東京都響とそれぞれリゲティ『ピアノ協奏曲』とベリオ「協奏曲 第2番「エコーイング・カーヴ」」（日本初演）で共演し絶賛を博した。

室内楽にも積極的に取り組んでおり、ウィーンフィルのメンバーやヴァイオリンの天満敦子、川島成道らと共演し、話題を呼んでいる。

各地の音楽祭へもたびたび出演しており、ラ・ロック・ダンテロン国際ピアノ・フェスティバル（フランス）、グレート・ロマンティクス・フェスティバル（カナダ・ハミルトン）、イスタンブール国際ピアノ・フェスティバル、シュタインバッハ音楽祭（オーストリア）、東京の夏音楽祭、草津音楽祭などに出演。

録音も多く、カメラータ・トウキョウからは継続的にソロ、室内楽の分野でCDが発売され、いずれも高い評価をもって迎えられている。2015年より桐朋学園大学院大学教授に就任。



チェコを代表するカルテット、パノハ弦楽四重奏団珠玉のドヴォルザーク

## ドヴォルザーク: 弦楽四重奏曲 第8番 & 第9番 パノハ弦楽四重奏団 HQM

●ドヴォルザーク:  
弦楽四重奏曲 第8番 ホ長調 作品80 B.57  
弦楽四重奏曲 第9番 二短調 作品34 B.75

[CD] CMCD-28311 ¥2,800(+税) ■録音:2014年3月 ほか/プラハ

★「レコード芸術」2014年10月号【特選】

最新録音

### ドヴォルザーク:弦楽四重奏曲のための 「糸杉」B.152、弦楽四重奏曲 第13番 HQM

[CD] CMCD-28206 ¥2,800(+税)

★「レコード芸術」2010年8月号【特選】

### ドヴォルザーク:弦楽四重奏曲 第12番「アメリカ」&第11番 HQM

[CD] CMCD-28025 ¥2,800(+税)

★「レコード芸術」2003年10月号【特選】

### ドヴォルザーク:弦楽四重奏曲 第10番 & 第14番 HQM

[CD] CMCD-28093 ¥2,800(+税)

★「レコード芸術」2005年12月号【特選】

### スメタナ:わが生涯より

ソナー:弦楽四重奏曲 第1番 HQM

[CD] 28CM-636 ¥2,800(+税)

★「レコード芸術」2001年9月号【準特選】

### ライヒャ:ホルン五重奏曲 & クラリネット五重奏曲

ペーター・シュミードル(クラリネット)

ラルス・ミハエル・ストランスキ(ホルン)

バヴェル・ネイテック(コントラバス)

[CD] CMCD-28024 ¥2,800(+税)

★「レコード芸術」2003年9月号【特選】

★朝日新聞「試聴室」【推薦】

★毎日新聞「今月の3枚」【推薦】



世界初録音

6人のオルガン奏者と  
ピアニストが織り成す  
唯一無二の音楽

## シヨパン & シューマン: ピアノ協奏曲集

6人のオルガン奏者による伴奏版

●シヨパン:ピアノ協奏曲 第2番 へ短調 作品21

●シューマン:ピアノ協奏曲 イ短調 作品54

岡田博美(ピアノ) / コスτανティーノ・カテーナ(ピアノ)

クラウドイオ・プリツィ(オルガン) / 指揮 / トランスクリプション)

ヴォルフガング・アーベントロート(オルガン)ほか

[CD] CMCD-28293 ¥2,800(+税) ■録音:2012年5月/イタリア

★「レコード芸術」2014年1月号【準特選】

HQM

(クリプトン HQMストア)でハイレゾ音源ダウンロード販売中!

▶www.01.hqm-store.com

●発売元: 株カメラータ・トウキョウ www.camerata.co.jp

f facebook.com/cameratatokyo

C A M E R A T A